



あなたの、いちばんであるために。

やましん

山梨信用金庫経営企画部

〒400-0032 甲府市中央 1-12-36

TEL 055-225-0213

ホームページアドレス

<https://www.yamasin.jp/>

中小企業景況レポート 2026年4～6月期 No.74

2026.7.15 発刊

■ 調査要領 ■

- 調査対象
当金庫営業エリア内の取引先中小企業 120社
- 調査時期・期間
調査時期：2026年6月1日～5日
調査期間：今期実績 2026年4月～6月
来期見通し 2026年7月～9月
- 調査方法
当金庫職員による訪問聞き取り調査
- 分析方法
D I を中心に分析
- 特別調査
「中小企業における価格転嫁について」

■ 調査対象と回答状況 ■

業 種	企 業 数	回 答 数	回 答 率
製 造 業	28	27	96.4%
卸 売 業	15	14	93.3%
小 売 業	17	17	100.0%
サービス業	26	25	96.2%
建 設 業	23	22	95.7%
不 動 産 業	11	11	100.0%
合 計	120	116	96.7%

※ D I (Diffusion Index) とは

各質問事項で「良い（増加）」とした企業割合－「悪い（減少）」とした企業割合の構成比との差（判断 DI）による分析です。例えば、回答が以下のような場合の DI の算出方法は、次のとおりです。

（例）「良い・やや良い」の回答が50%、「変わらず」の回答が30%、「悪い・やや悪い」の回答が20%の場合

DI は50「良い・やや良い」－20「悪い・やや悪い」＝ +30となります。DI 値が高いほど景気が良いことを示しています。

業 況 判 断 D I

業 種	前 期	今期実績			来期見通し		
		良い	悪い	D I	良い	悪い	D I
総 合	▲12.7	24.1	24.1	0.0	20.6	28.4	▲7.8
製 造 業	▲29.6	25.9	22.2	3.7	29.6	33.3	▲3.7
卸 売 業	▲6.7	21.4	28.5	▲7.1	21.4	21.4	0.0
小 売 業	▲5.9	23.5	17.6	5.9	11.7	29.4	▲17.7
サービス業	▲15.4	20.0	32.0	▲12.0	32.0	24.0	8.0
建 設 業	▲4.5	18.1	22.7	▲4.6	9.0	22.7	▲13.7
不動産業	0.0	45.4	18.1	27.3	9.0	45.4	▲36.4

業 種 別 景 気 天 気 図

業 種	前 期	今 期	見 通 し
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小 売 業			
サービス業			
建 設 業			
不動産業			

31以上	11～30	10～▲10	▲11～▲30	▲31以下

※本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は、

正確性・完全性を保証するものではありません。

※回答数：国中地区67社、東部地区31社、相模原周辺地区18社

概 況

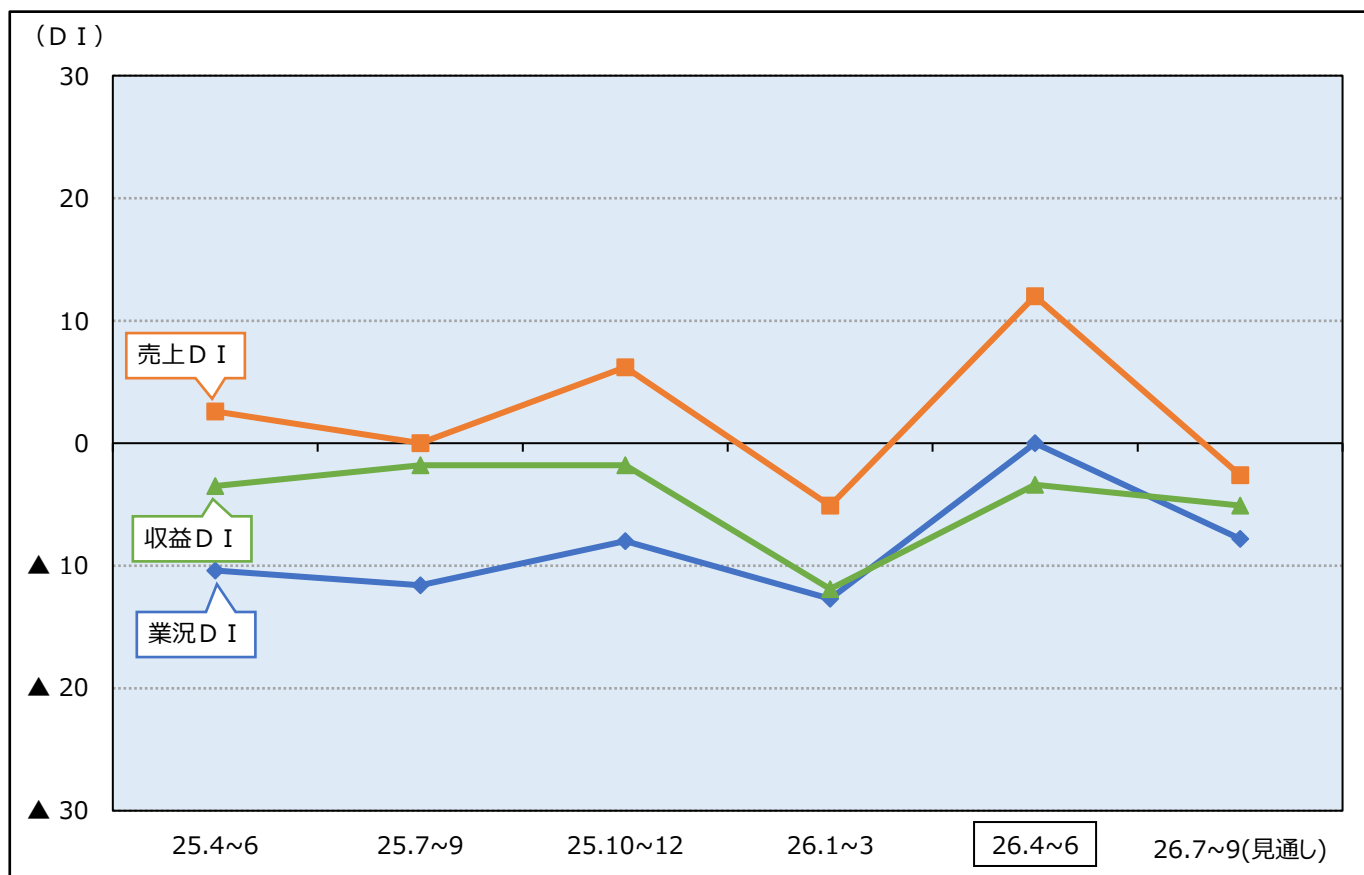
<業況・売上・収益>

今期（４～６月、以下同じ。）のＤＩをみると、業況ＤＩは前期（１～３月、以下同じ。）▲１２.７から０.０と、１２.７ポイント改善（前年同期比１０.４ポイント改善）しました。売上ＤＩは同▲５.１から１２.０と、１７.１ポイント改善（同比９.４ポイント改善）、収益ＤＩは同▲１１.９から▲３.４と、８.５ポイント改善（同比０.１ポイント改善）となりました。

来期（７～９月、以下同じ。）をみると、業況ＤＩは０.０から▲７.８と、今期実績比７.８ポイント悪化の見通しとなりました。売上ＤＩは同１２.０から▲２.６と、同比１４.６ポイント悪化、収益ＤＩは同▲３.４から▲５.１と、同比１.７ポイント悪化の見通しとなりました。

■ 業況・売上・収益ＤＩの時系列推移 ■

	25.4～6	25.7～9	25.10～12	26.1～3	26.4～6	26.7～9 見通し
業 況 Ｄ Ｉ	▲10.4	▲11.6	▲8.0	▲12.7	0.0	▲7.8
売 上 Ｄ Ｉ	2.6	0.0	6.2	▲5.1	12.0	▲2.6
収 益 Ｄ Ｉ	▲3.5	▲1.8	▲1.8	▲11.9	▲3.4	▲5.1

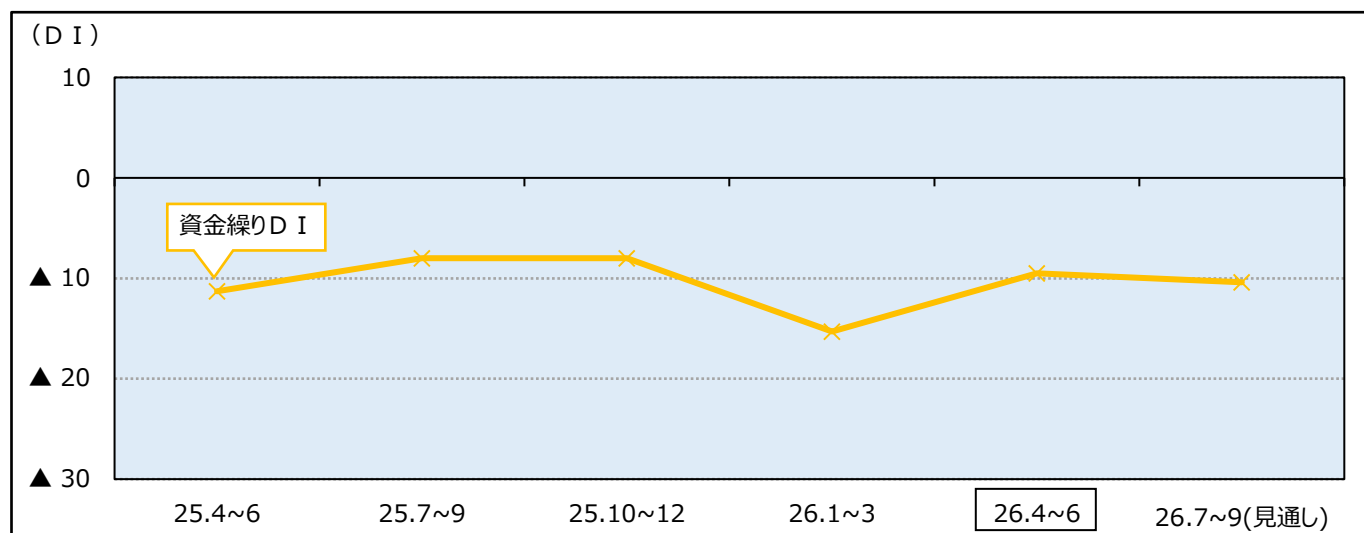


<資金繰り>

今期の資金繰りD Iは前期▲15.3から▲9.5と、5.8ポイント改善（前年同期比1.8ポイント改善）となりました。また、来期は▲10.4と、今期実績比0.9ポイント悪化の見通しとなりました。

■ 資金繰りD Iの時系列推移 ■

	25.4～6	25.7～9	25.10～12	26.1～3	26.4～6	26.7～9 見通し
資 金 繰 り D I	▲11.3	▲8.0	▲8.0	▲15.3	▲9.5	▲10.4



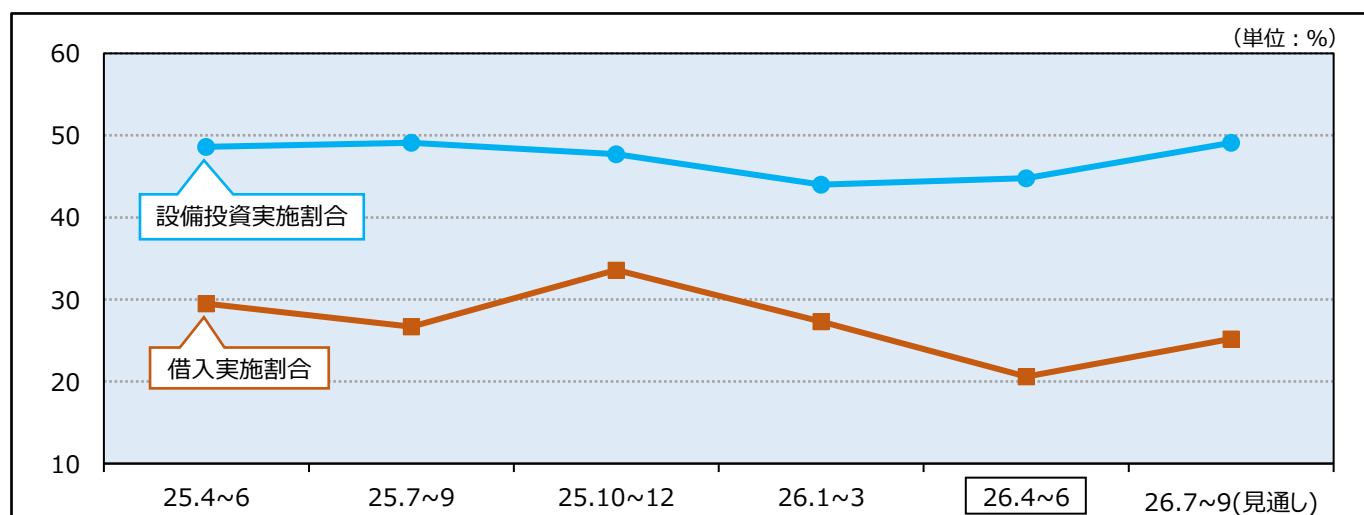
<設備投資・借入動向>

今期の不動産業を除いた設備投資実施企業割合は、前期44.0%から44.8%と、前期比0.8ポイント上昇（前年同期比3.8ポイント低下）となりました。また、来期は49.1%と、今期実績比4.3ポイントの上昇が見込まれます。

全業種総合の借入実施企業割合は、前期27.3%から20.6%と、前期比6.7ポイント低下（前年同期比8.9ポイント低下）しました。また、来期は25.2%と、今期実績比4.6ポイントの上昇が見込まれます。

■ 設備投資・借入実施動向の時系列推移 ■

	25.4～6	25.7～9	25.10～12	26.1～3	26.4～6	26.7～9 見通し
設備投資実施割合	48.6%	49.1%	47.7%	44.0%	44.8%	49.1%
借 入 実 施 割 合	29.5%	26.7%	33.6%	27.3%	20.6%	25.2%



製造業

■ 主要D Iの推移 ■

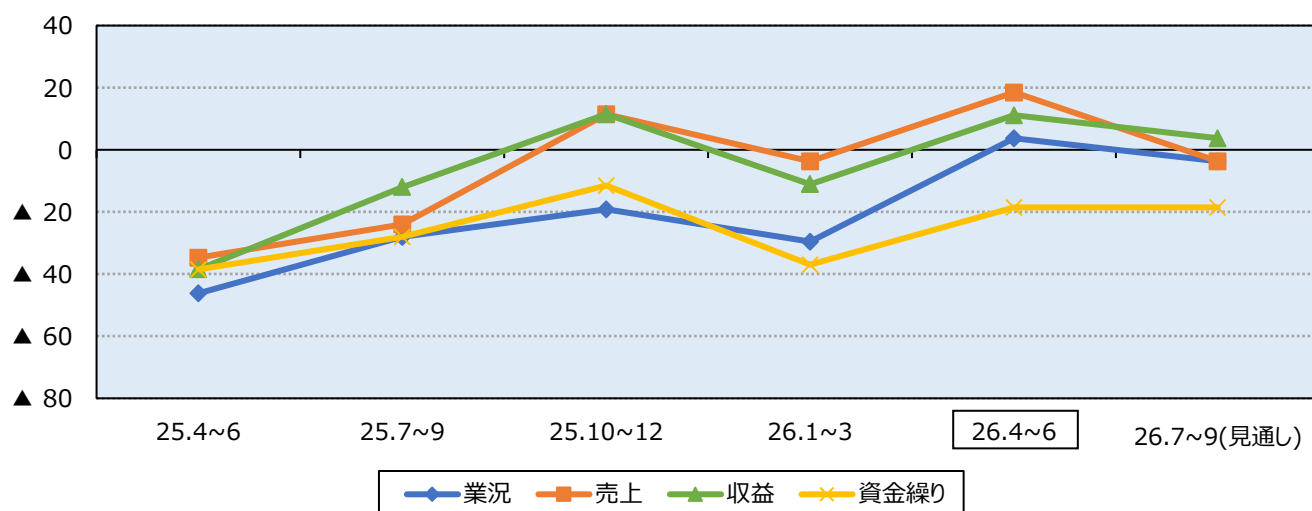
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲46.2	▲29.6	3.7	▲3.7
売 上	▲34.7	▲3.7	18.5	▲3.7
収 益	▲38.5	▲11.1	11.1	3.7
資 金 繰 り	▲38.5	▲37.0	▲18.5	▲18.5

【今期】

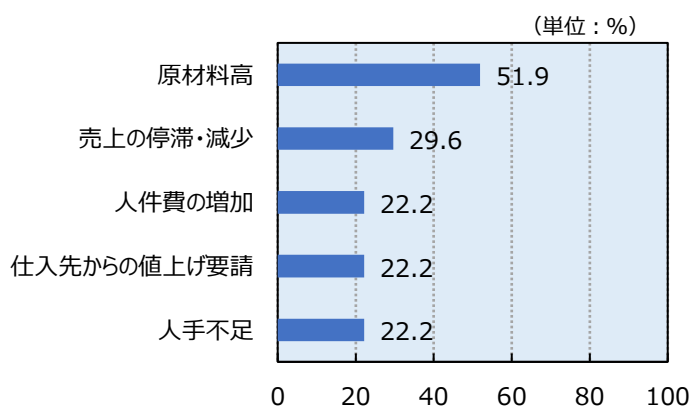
前期比および前年同期比で、すべてのD Iが改善しました。特に、前年同期比では、業況D Iが同比49.9ポイント、売上D Iが同比53.2ポイント、収益D Iが同比49.6ポイントと、大きく改善しました。

【来期】

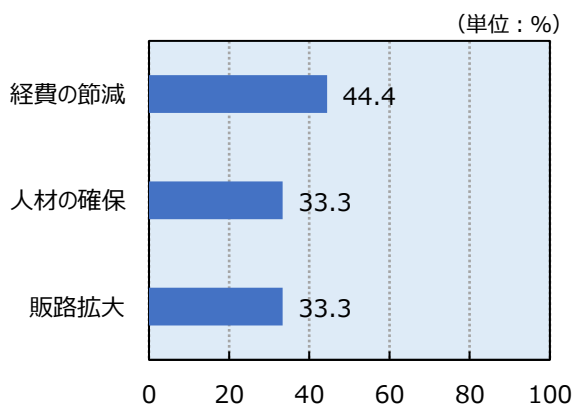
今期実績比で、資金繰りD Iを除いて悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 原材料の高騰については、取引先との協議を進めたうえで対応できている。（制御盤装置・機器ケーブル）
- 営業活動に注力しており、ビジネスマッチングにも参加予定である。（菓子）

卸売業

■ 主要D Iの推移 ■

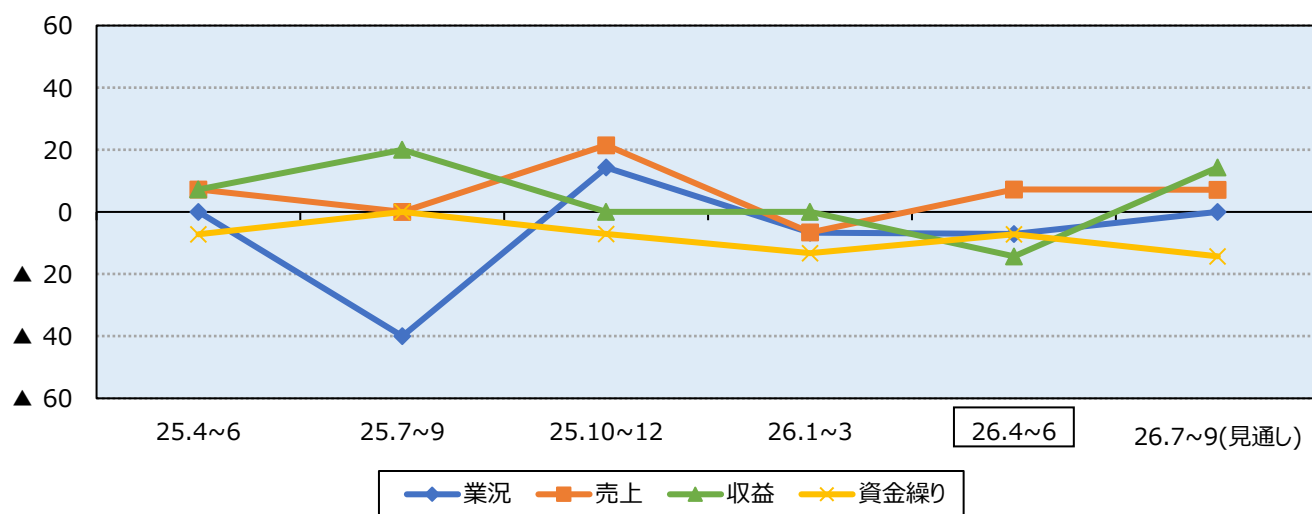
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	0.0	▲6.7	▲7.1	0.0
売 上	7.2	▲6.6	7.2	7.1
収 益	7.2	0.0	▲14.3	14.3
資 金 繰 り	▲7.2	▲13.3	▲7.2	▲14.3

【今期】

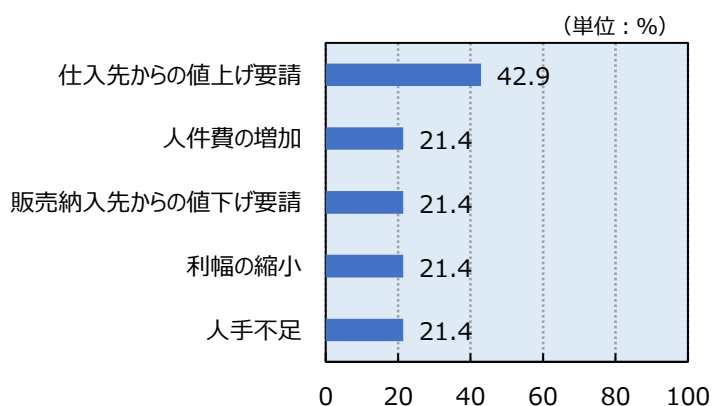
前期比で、業況D Iと収益D Iが悪化、売上D Iと資金繰りD Iが改善しました。前年同期比では、業況D Iと収益D Iが悪化、売上D Iと資金繰りD Iが横ばいとなりました。

【来期】

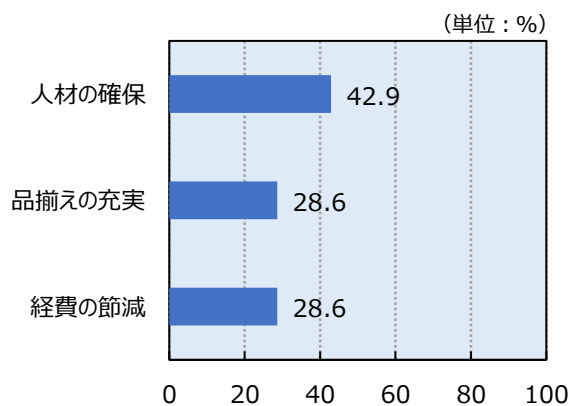
今期実績比で、業況D Iと収益D Iが改善、売上D Iと資金繰りD Iが悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○中東情勢等の影響から、品薄や欠品となる資材が出てきている。(建設資材)

○包装や容器等のコスト増加もあり、価格転嫁に苦慮している。(海産物)

小 売 業

■ 主要D Iの推移 ■

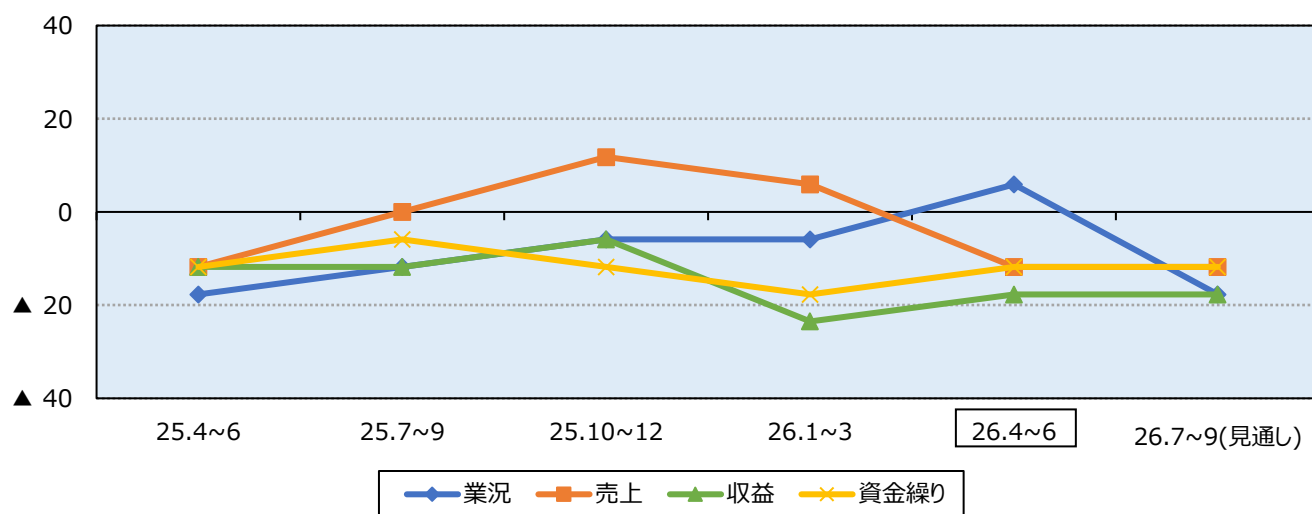
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲17.7	▲5.9	5.9	▲17.7
売 上	▲11.8	5.9	▲11.8	▲11.8
収 益	▲11.8	▲23.5	▲17.7	▲17.7
資 金 繰 り	▲11.8	▲17.7	▲11.8	▲11.8

【今期】

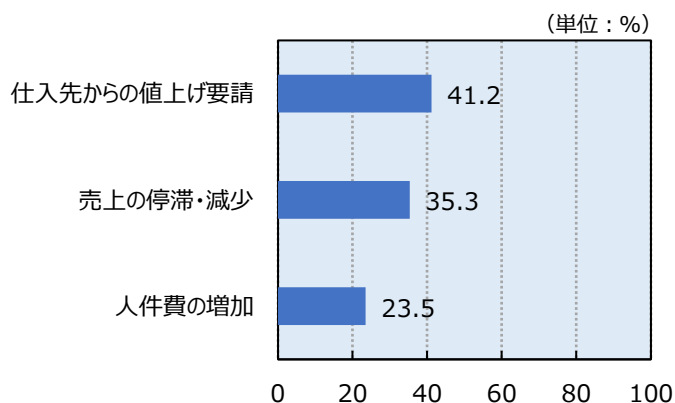
前期比で、売上D Iを除いて改善しました。前年同期比では、業況D Iが改善、売上D Iと資金繰りD Iが横ばい、収益D Iが悪化しました。

【来期】

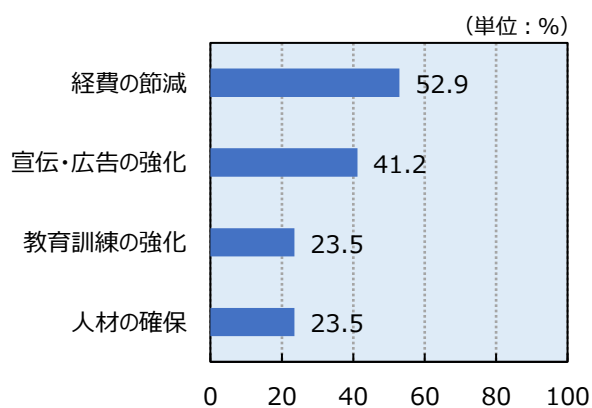
今期実績比で、業況D Iが悪化、その他のD Iが横ばいの見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○仕入先の選定、値段設定、価格交渉等を工夫している。(洋菓子)

○仕入価格の変動が激しいが、概ね価格転嫁できている。(ガソリン)

サービス業

■ 主要D Iの推移 ■

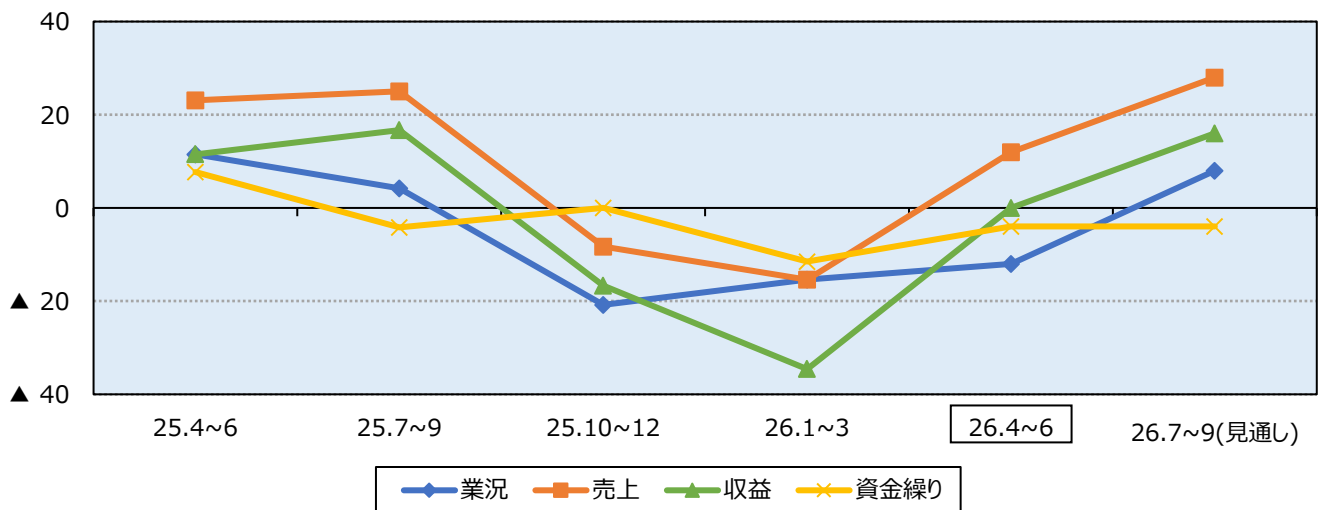
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	11.5	▲15.4	▲12.0	8.0
売 上	23.1	▲15.4	12.0	28.0
収 益	11.5	▲34.6	0.0	16.0
資 金 繰 り	7.7	▲11.5	▲4.0	▲4.0

【今期】

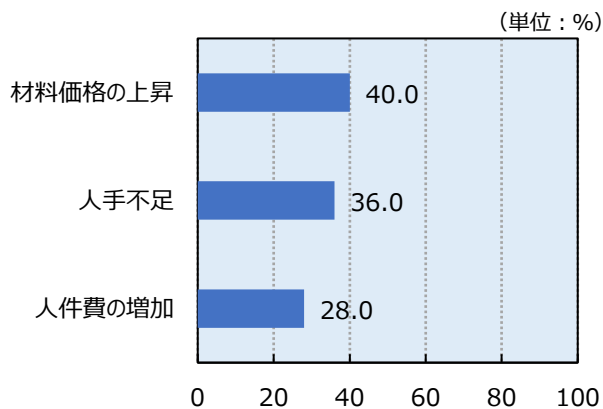
前期比で、すべてのD I が改善しました。前年同期比では、すべてのD I が悪化しました。

【来期】

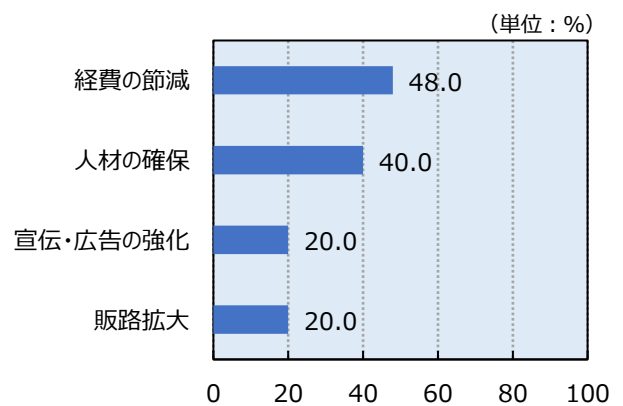
今期実績比で、資金繰りD Iを除いて改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- ナフサの不足による材料価格の高騰や仕入状況の悪化が顕在化している。(自動車・建設機械整備)
- 取引先と継続的な価格交渉を行い、徐々に利益率が改善されている。(産廃収集)

建設業

■ 主要D Iの推移 ■

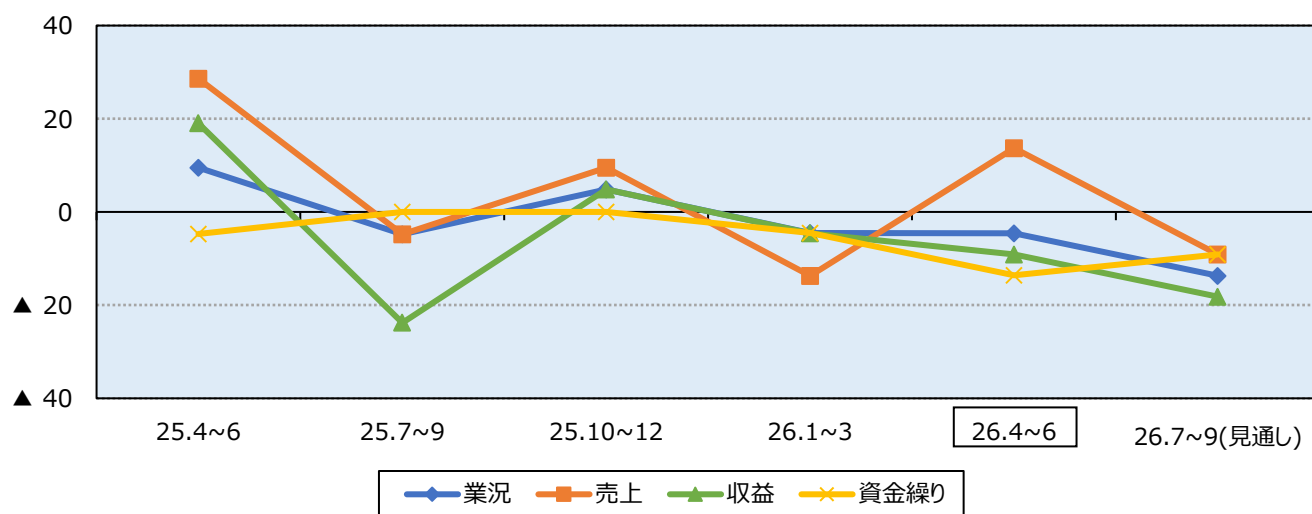
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	9.5	▲4.5	▲4.6	▲13.7
売 上	28.6	▲13.7	13.7	▲9.1
収 益	19.0	▲4.6	▲9.1	▲18.2
資 金 繰 り	▲4.7	▲4.5	▲13.6	▲9.1

【今期】

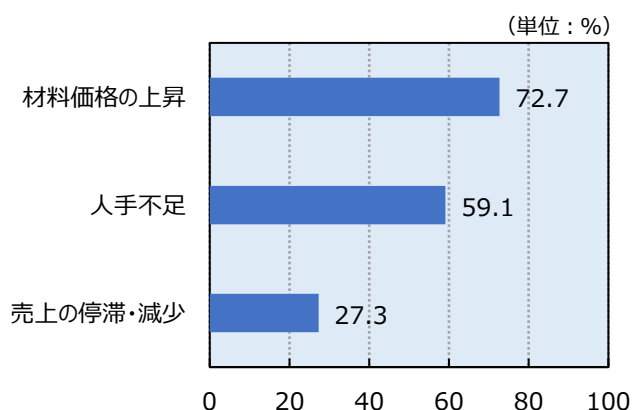
前期比で、売上D Iを除いて悪化しました。前年同期比では、すべてのD Iが悪化しました。

【来期】

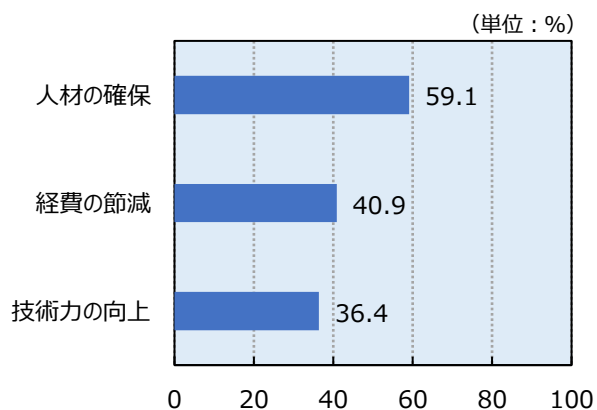
今期実績比で、資金繰りD Iを除いて悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 今後も原材料の不足が続く場合、工期の長期化による人件費の増加が懸念される。(電気設備工事)
- 新卒採用よりも中途採用に重点を置くことで、即戦力の獲得を図っている。(土木工事)

不動産業

■ 主要D Iの推移 ■

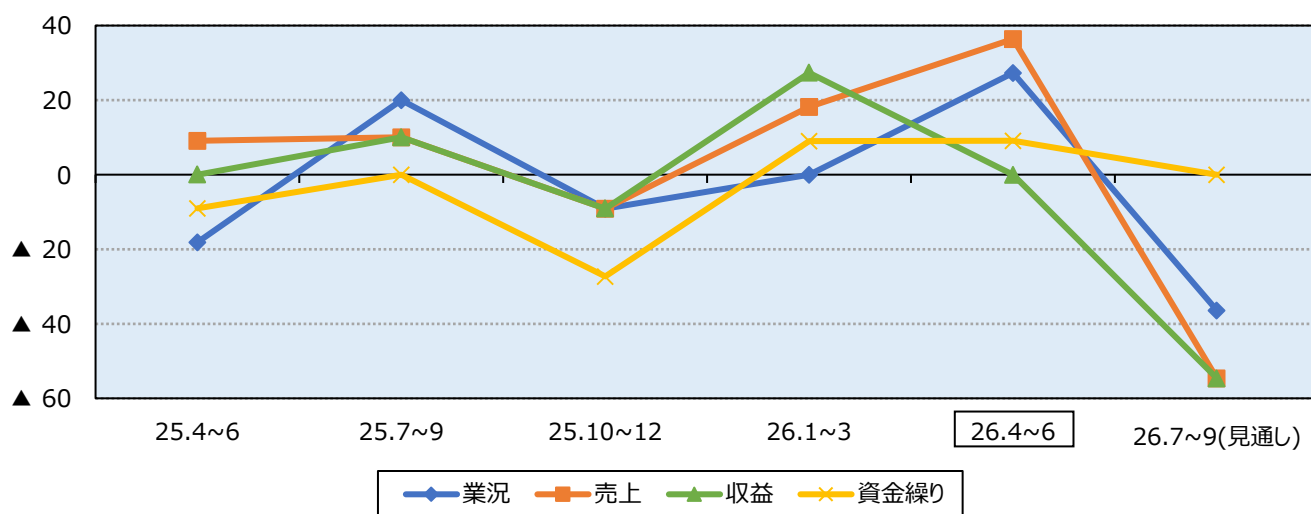
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲18.1	0.0	27.3	▲36.4
売 上	9.1	18.2	36.4	▲54.6
収 益	0.0	27.3	0.0	▲54.6
資 金 繰 り	▲9.0	9.0	9.1	0.0

【今期】

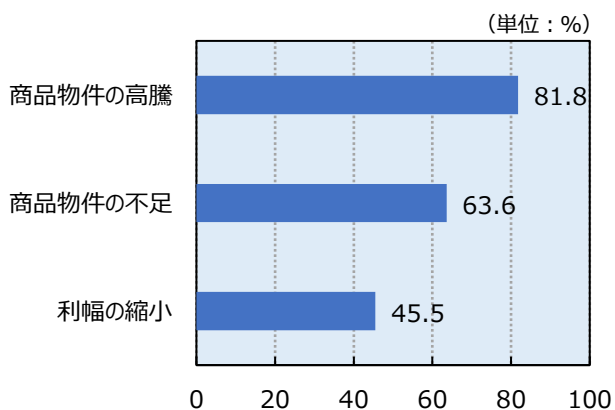
前期比および前年同期比で、収益D Iを除いて改善しました。

【来期】

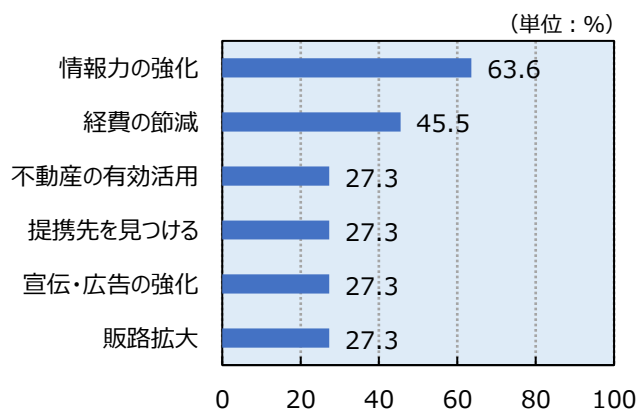
今期実績比で、すべてのD Iが悪化の見通しとなりました。特に、業況D Iが同比63.7ポイント、売上D Iが同比91.0ポイント、収益D Iが同比54.6ポイントと、大きく悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

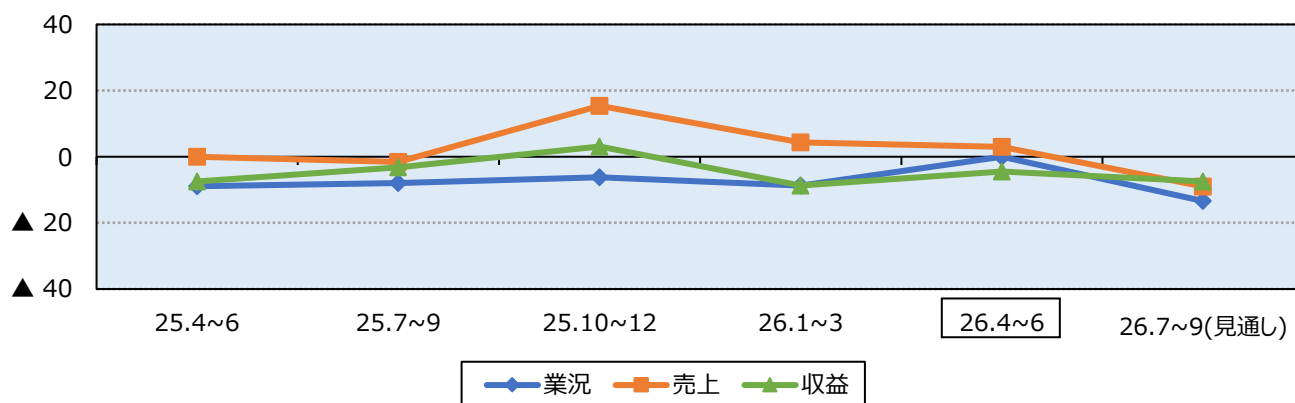
- 仕入については、引き続き良質な物件の見極めと価格交渉に重点を置く方針である。(不動産売買・仲介)
- 相続相談に対応する中で、売物件を増やしていきたいと考えている。(不動産売買・仲介)

<地区別D I の状況>

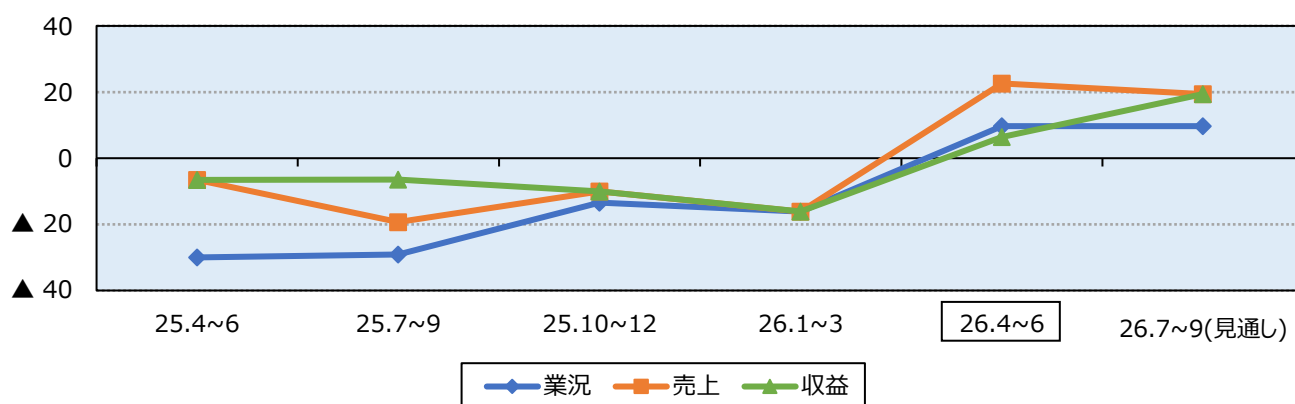
前期比では、山梨県国中地区で、売上D Iを除いて改善、東部富士五湖地区で、すべてのD Iが改善、相模原地区で、収益D Iを除いて改善しました。前年同期比では、山梨県国中地区と東部富士五湖地区で、すべてのD Iが改善、相模原周辺地区で、すべてのD Iが悪化しました。

来期見通しについては、山梨県国中地区で、すべてのD Iが悪化、東部富士五湖地区で、業況D Iが横ばい、売上D Iが悪化、収益D Iが改善、相模原周辺地区で、業況D Iを除いて悪化の見通しとなりました。

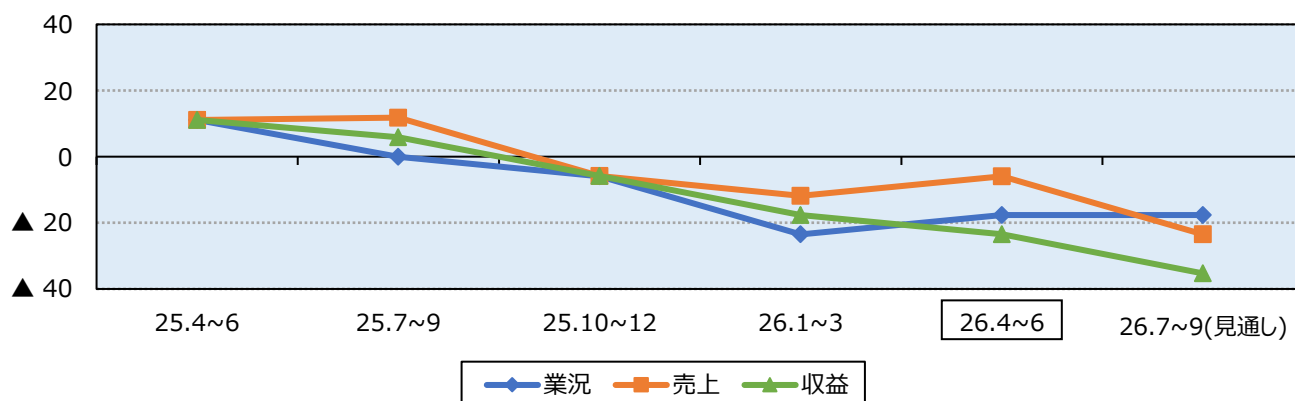
【 山梨県国中地区D Iの推移 】



【 東部富士五湖地区D Iの推移 】

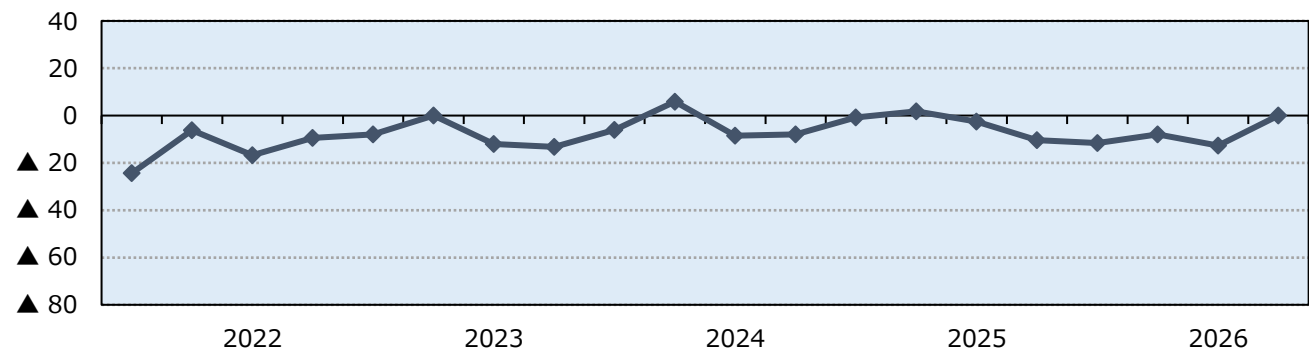


【 相模原周辺地区D Iの推移 】

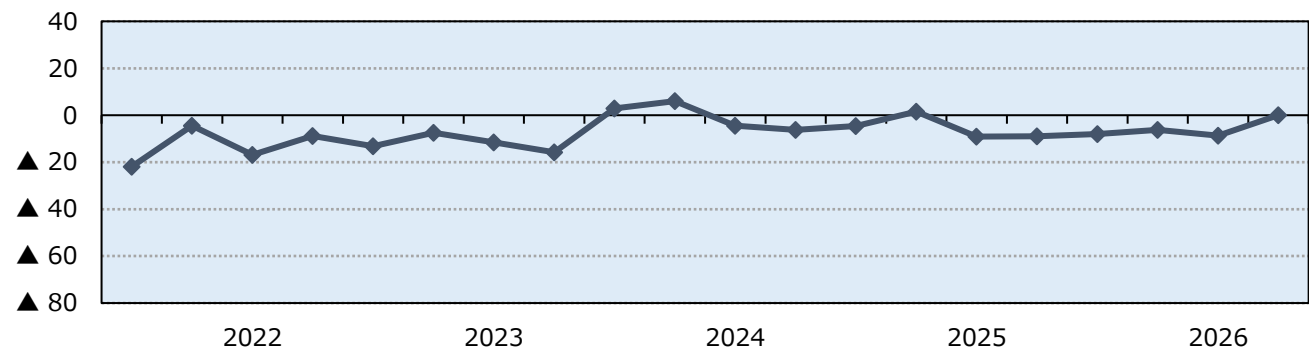


<業況D I の5年間の推移>

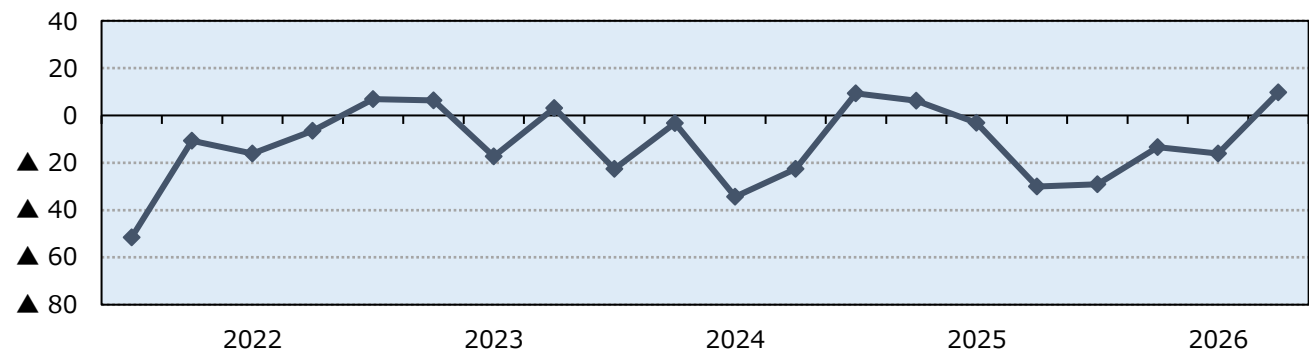
【 総合D I の推移 】



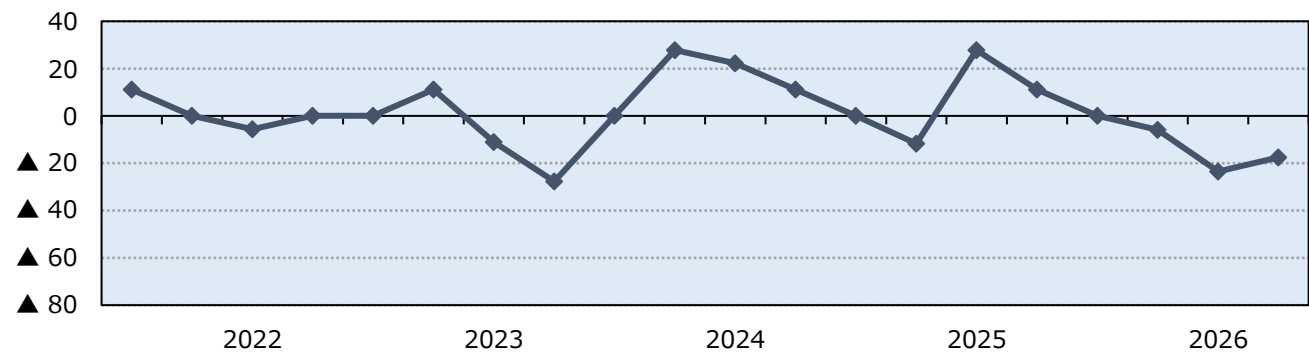
【 山梨県国中地区D I の推移 】



【 東部富士五湖地区D I の推移 】



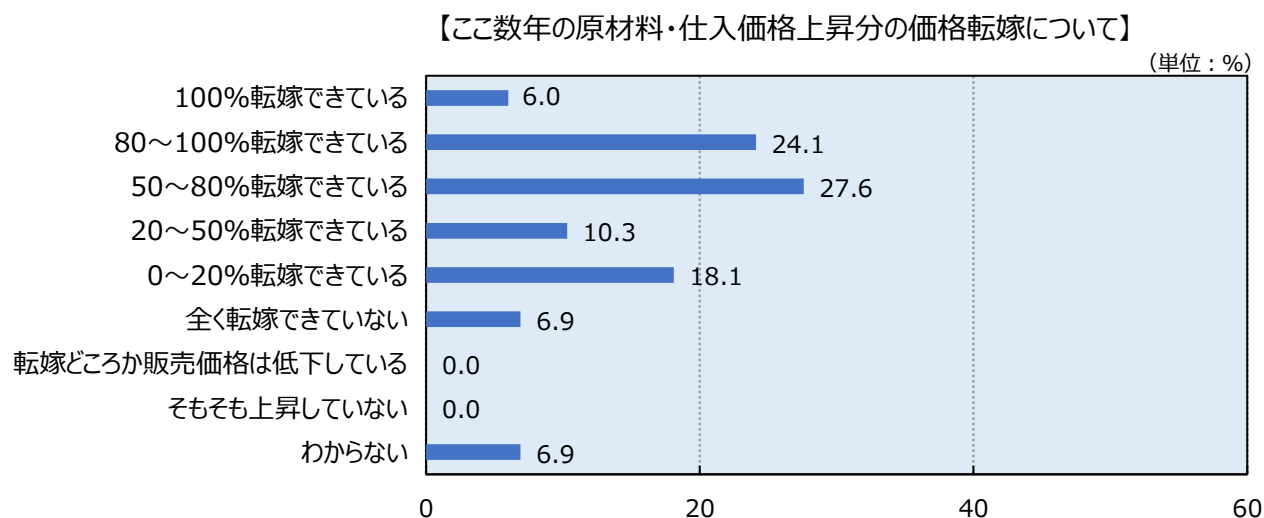
【 相模原周辺地区D I の推移 】



中小企業における価格転嫁について （回答企業：116 社）

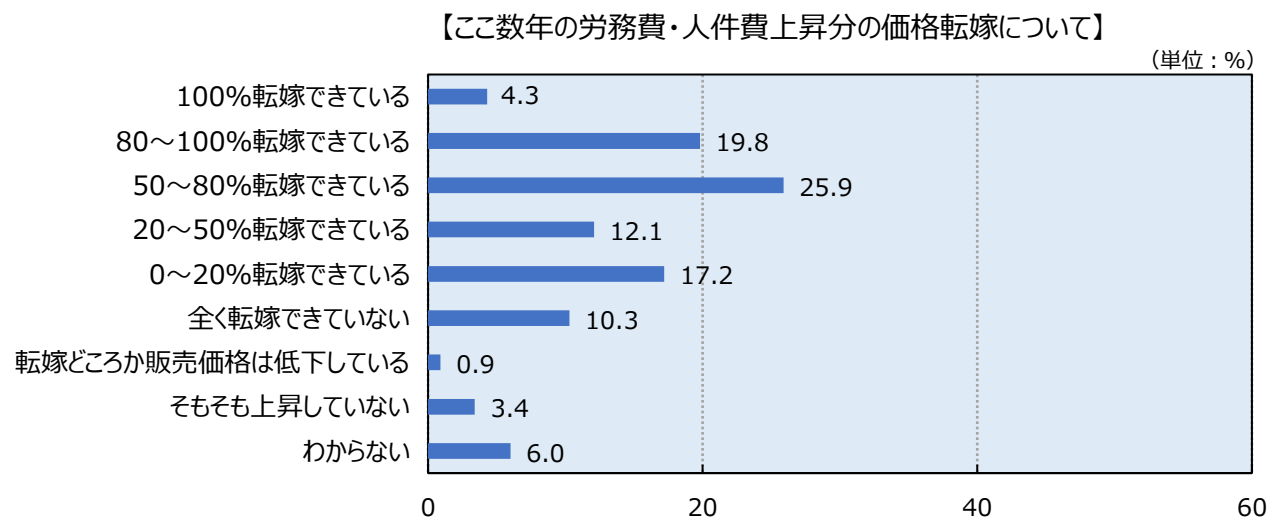
問 1 近年、取引条件の適正化を促進する政策的な動きが活発化しています。ここ数年（2020 年ごろから）の原材料・仕入価格の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。

- 「50～80%転嫁できている」が 27.6%と最も多く、次いで「80～100%転嫁できている」が 24.1%、「0～20%転嫁できている」が 18.1%となりました。
- 「全く転嫁できていない」は 6.9%となりました。



問 2 ここ数年（2020 年ごろから）の労務費・人件費の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。

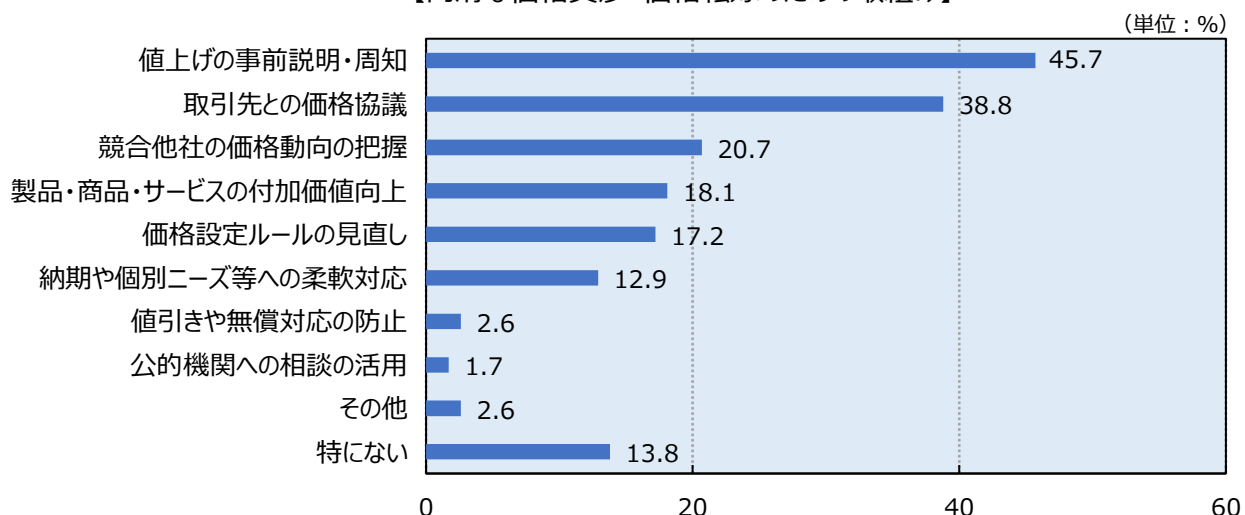
- 「50～80%転嫁できている」が 25.9%と最も多く、次いで「80～100%転嫁できている」が 19.8%、「0～20%転嫁できている」が 17.2%となりました。
- 「全く転嫁できていない」は 10.3%となりました。



問3 取引先（販売先）との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取組みは何か。 ※複数回答

- 「値上げの事前説明・周知」が45.7%と最も多く、次いで「取引先との価格協議」が38.8%、「競合他社の価格動向の把握」が20.7%、「製品・商品・サービスの付加価値向上」が18.1%となりました。

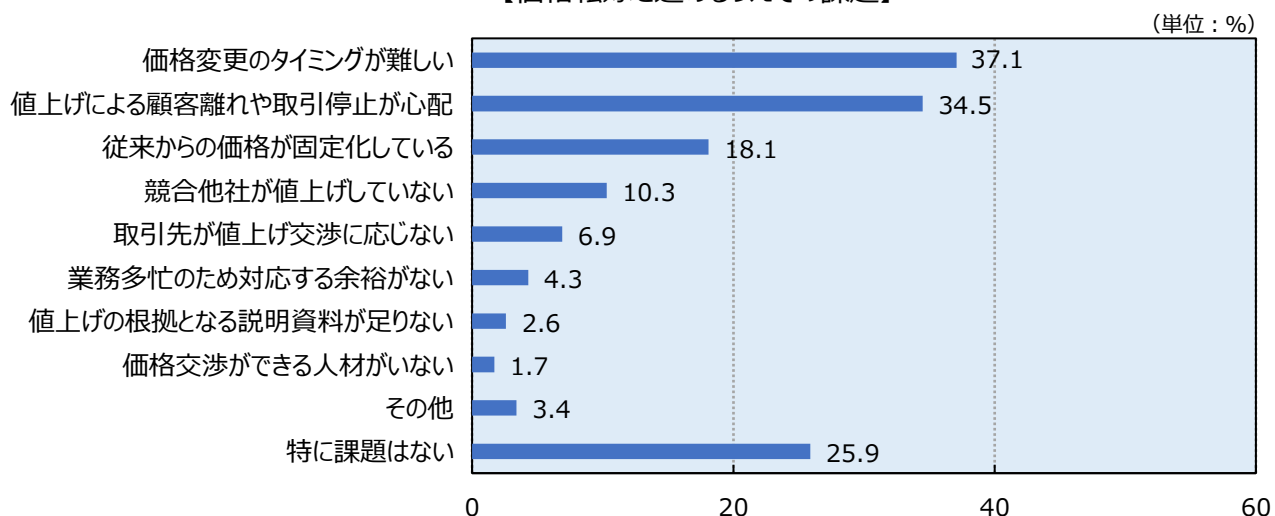
【円滑な価格交渉・価格転嫁のための取組み】



問4 価格転嫁を進めるうえでの課題は何ですか。 ※複数回答

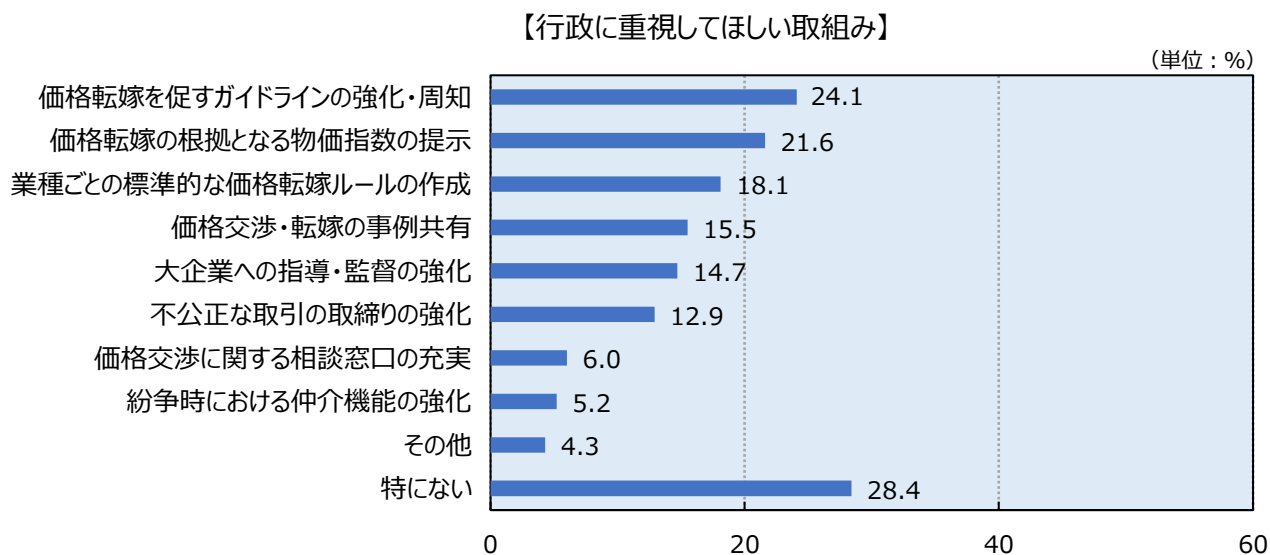
- 「価格変更のタイミングが難しい」が37.1%と最も多く、「値上げによる顧客離れや取引停止が心配」が34.5%、「従来からの価格が固定化している」が18.1%、「競合他社が値上げしていない」が10.3%となりました。
- 「特に課題はない」は25.9%となりました。

【価格転嫁を進めるうえでの課題】



問5 今後、円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるうえで、行政に重視してほしいと感じる取組みはありますか。 ※複数回答

- 「価格転嫁を促すガイドラインの強化・周知」が24.1%、「価格転嫁の根拠となる物価指数の提示」が21.6%、「業種ごとの標準的な価格転嫁ルール作成」が18.1%、「価格交渉・転嫁の事例共有」が15.5%となりました。



★地域のイベント情報

北杜市明野サンフラワーフェス（開催日：7月18日～8月16日）

⇒南アルプスや八ヶ岳を望む雄大な景色の中、満開に咲く40万本のひまわり畑を楽しめます。8月14日の19時より、初の試みとなるライトアップイベントも実施予定です。

会場：メイン会場（北杜市明野町浅尾5664）、農村公園会場（北杜市明野町上手13811）

交通アクセス：JR 韮崎駅よりバスで約25分、または中央自動車道須玉 IC より車で約13分

石和温泉花火大会（開催日：8月22日）

⇒7月20日から続く「笛吹市夏まつり」のフィナーレを飾り、1万発以上の花火が打ち上げられます。

会場：笛吹市役所前笛吹川河川敷（笛吹市石和町市部777）

交通アクセス：中央自動車道一宮御坂 IC より車で約10分、または JR 石和温泉駅より徒歩で約20分

城山夏まつり（開催日：8月22日、23日）

⇒県北地域最大級で由緒あるお祭りです。見どころは、城山地域を練り歩く三基の神輿渡御と九基の山車によるお囃子の共演です。

会場：川尻八幡宮および城山地域（相模原市緑区川尻4171ほか）

交通アクセス：京王相模原線橋本駅よりバスで約12分

編集後記

このたびの中小企業景気動向調査については、お忙しい中、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

今期のD I 調査では、総合で、すべてのD I が前期（1月～3月）比で改善しました。業種別でみると、製造業とサービス業で、すべてのD I が改善しました。来期については、総合で、すべてのD I が悪化の見通しとなっており、特に不動産業で大きく悪化の見通しとなっております。

特別調査では、「中小企業の価格転嫁について」と題し調査しました。ここ数年の原材料・仕入価格の上昇分については86.2%、労務費・人件費の上昇分については79.3%の企業が価格転嫁できているとの回答となりました。価格転嫁を進めるうえでの課題については、価格変更のタイミングの難しさや値上げによる顧客離れへの懸念について挙げる企業が多い結果となりました。

当金庫では、お客さまの資金繰り支援はもとより、本業支援にも積極的に取り組んでおります。経営に関する様々な相談を受け付けており、外部専門機関との連携等を通じた情報提供や課題解決に注力しております。ぜひ、お近くの営業店や担当者までご相談ください。

また、中東情勢の緊迫化に伴い、当面の間、各営業店に「原油・原材料価格高騰等対策特別相談窓口」を設置しております。原油・原材料価格高騰等により影響を受けている、または、影響のおそれがあるお客さまからの資金繰りや返済条件の見直し等に関する相談を受け付けておりますので、お取引店までお問合せください。